

# スクッピーだより 初春号

【調布市子ども発達センターニュース】

〒182-0032 調布市西町290-49

E-mail/ ayumi@w2.city.chofu.tokyo.jp

TEL/042-486-1190



## 保護者勉強会 & 市民講演会を行いました

### 6/30 遊んで育てる～遊びと子どもの発達～

実際に様々な遊びの体験（コップかさねなど）をしながら、お子さんにとっての“遊びとは”や“遊びの大切さとは”を実感して学んでいただけたと思います。

難しく捉えがちな“子どもと遊ぶこと”を、このお話をきっかけに、お母さん方も楽しんでもらえたらと思います

言語聴覚士



参加した  
保護者の方の感想

子どもとの遊びは真面目になり過ぎず、サービスしすぎない位がいいのか！と思いました。  
何気ない事が遊びになるんだな、やってみよう！と思いました。

### 11/20 親子のきずな コミュニケーション

～子どもを理解して味方になる～ 白梅学園大学准教授

市川先生は、子どもとは・親子とは何かという事、お子さんの行動の意味を理解するポイント、発信する力を育てることから、子育ての『大切なこと』を教えてくださいました。

“お子さんの力と成長を信じて”“お子さんとともに「楽しい今」を過ごしましょう”“親子がともに育っていくことで良いのですよ”とお話し下さいました。

「誉めることも大切だけど、一緒に楽しく過ごすことが自己肯定感を高める」と先生のお話しに、楽しんで子育てしたいなと改めて思いました。



参加した  
保護者の方の感想

### 12/2 市民講演会

筑波大学体育系博士

#### 「運動が苦手・不器用な子どもの運動遊びと体づくり」

発達特性のあるお子さんの運動支援について、研究・実践をご専門にされている澤江幸則先生からお話をいただきました。お子さんにとってわかりやすいこと、やりたい気持ちを育むことの大切さ、動きそのものを指導するのではなく、自然な動きを導く遊びの大切さなどを教えてくださいました。

具体的な支援の方法もご紹介いただき、分かりやすかったと大変好評でした。センターをご利用いただいている方にも多数ご出席いただきました。

◆来年度も、勉強会・講演会を企画しています。  
お子さんの保育もありますので、お気軽にご参加ください。



# 子どもたちの「遊び」の大切さ



遊ぶ過程で生じるいろいろな要因が，子どもの成長の力になります。

“ただ遊んでいるだけ”ではありません。遊びがもたらす大切な側面に目を向けましょう。



《 楽しい・面白い・  
気持ちいい 》

～遊んでいる時のキーワード～

\* 子どもは...

- ・自分の好きなことで遊ぶ
- ・大人や友達とやり取りして遊ぶ
- ・友達のやっていることに興味を持ちながら見る

\* 大人は，子どもの楽しみ方にじっくり付き合います。



意欲

「もっとやってみたい！」

達成感

「やったあー！」



人は心地よい存在

大人は，  
子どもの気持ちを，代弁する  
ことが大切です！

代弁することで...

子：“気持ちを分かってもらえた！”

“よかったあ～”

大人：“その気持ち分かっているよ”



体も心も安心して過ごせること

- ・どんな活動でも，子どもが伸び伸びと遊べる環境を設定する。
- ・子どもの好きなこと・嫌いなこと・不安になることを大人が理解して関わる。
- ・遊びの中で，子どもが失敗感や恐怖を抱くことを少なくする。



\* その結果，子どもは，遊びやいろいろな活動を安心して楽しむようになります。その中で，できることが増えたり，新しいことにもチャレンジしようと思うようになります。

\* この経験をたくさん重ねると...

子どもは，

“自分を受け止めてくれる人がいる”

“自分は愛されている存在なんだ”

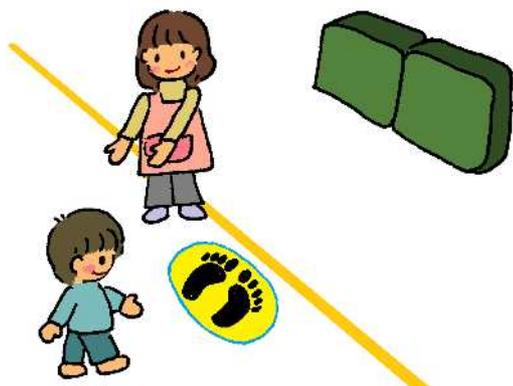
という心地よさを，いっぱい感じてくれるでしょう。



## 【センターでの遊びの紹介】

### ❀ 一歩橋 渡り ❀

様々な形や高さの台を組み合わせて道を作ります。表面の材質が異なったり，形が曲がっていたりするので，足元に気を付けて慎重に歩かないと落ちてしまいます。楽しみながらバランス感覚を身につけられます。



### ❀ よーいどん ❀

名前を呼ばれた順に，足跡マークでスタンバイ，合図でマットのゴールを目指して走ります。誰が何処から何をするのかを，見て聴いて解るように工夫したルール遊びです。

ゴールはマットの他に，ポストやくだものの木など，子どもの興味に合わせて変えています。

### ❀ 親子遊び ❀

体を支えてもらったり，一定のリズムで動かしてもらったり，くすぐってもらったりなどすることで，子どもは安心感と心地良さを得ています。

目線を合わせて行ったり，大人も楽しんでいると子どもたちはより楽しくなります。



\* イラストは，“がたがたバス”です。

大人の膝に乗って，歌に合わせて上下に揺らしてもらいます。最後に一呼吸あけて床にトンとお尻が落ちる遊びです。

『楽しい・面白い・気持ちいい』『体も心も安心して過ごせること』『人は心地よい存在』の3つのポイントを，子どもたちがたくさん感じて経験していくこと，子どもたちの中に“自己肯定感”（自分の気持ちが満たされること）が育ち，“自信”が持てること。

このことが，のちにつながる集団生活・社会との交流への基盤になっていきます。

「遊び」には，お子さんの成長に深くつながるたくさんの要素が含まれています。





# お知らせ

## 保育所等訪問支援事業のご案内

保育所や幼稚園等を現在ご利用のお子さんが、集団の中で、より過ごしやすくなるための専門的な支援を必要とする場合に、子ども発達センターの職員が在籍園を訪問し、相談、助言を行います。

児童福祉法に位置付けられた制度です。障害者手帳、診断をお持ちのお子さんが対象です。前年度の所得に応じた保護者負担があります。

利用の流れや詳細について、まずは子ども発達センター（電話：486-1190）にお問い合わせください。

## 〈緊急一時等養護事業の登録更新〉

3年ごとに登録の更新が必要です。有効期限は「緊急一時等養護事業登録カード」に記載されていますので、ご確認ください。有効期限の3か月前から更新手続きを受け付けています。

平成25年に登録した方は、今回更新となります。

お子さんの預かり当日は、来所時に巡回バスの一部の便が利用できます。



## 就学に関する説明会

子ども発達センターでは、教育相談所で実施している“就学相談”や“調布の特別支援教育”などについて保護者の方に理解を深めていただくことを目的として、**就学に関する説明会**を開催しています。

来年度も5月の開催を予定しております。詳細は、決まり次第館内掲示や“お知らせ”でご案内いたしますのでご確認ください。

## 小1同窓会

昨年7月2日に小学1年生の保護者を対象とした小1同窓会を開催しました。先輩お母さんや教育相談所の相談員さんも参加されました。

通常級や通級指導、支援学級や支援学校の不安なこと、心配なこと実際の体験談を聞いてみませんか。来年度も開催を予定しております。詳細が決まりましたら、ホームページ等でお知らせしますのでご確認ください。

## 小1個別相談(教育相談所共催)

昨年6月、9月に小学1年生の保護者を対象とした小1個別相談を教育相談所との共催で行いました。来年度については詳細が決まりましたら“お知らせ”を学校経由で配付いたします。



## \* 編集後記 \*

ここまでお読みいただきありがとうございます。

新しい4月のスタートに向けて、これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

